

各 位

2017 年 11 月 21 日

日本カーリット株式会社

(株)東レリサーチセンターとの業務提携締結に関するお知らせ

日本カーリット株式会社（代表取締役社長：金子洋文、本社所在地：東京都中央区）では、増加するリチウムイオン二次電池の需要に応えるべく、新たに株式会社東レリサーチセンター（代表取締役社長：川村邦昭、本社所在地：東京都中央区）と試験業務に関わる業務提携を開始いたしました。

当社は、産業用爆薬、発炎筒、ロケット固体推進薬原料、紙パルプ漂白剤などのメーカーとして来年創業 100 周年を迎えます。これら製品の評価を行うため 1982 年に民間として初めて危険性物質の総合評価機関として危険性評価試験所を発足いたしました。

危険性評価試験所ではお客様で開発された化学物質の消防法危険物確認試験、国連勧告クラス分け試験等のほか、自動車等の大型製品の実規模スケールにおける発火、爆発試験等が対応可能であり、幅広い危険性評価試験を受託しております。

また、昨今、世界的に EV 化が加速する中、車載用大型電池の安全性試験ニーズが高まってきております。2017 年 3 月に EREF（危険性評価複合施設）を新設し、大型電池の充放電試験設備や 100 t まで加圧可能な圧壊試験機を導入するなど、増加するリチウムイオン二次電池に関わる需要に応えるため、様々な施策を講じております。

現在、当社の危険性評価試験所では、充放電による電池の劣化や、電池に過負荷をかけた際の発火挙動などは確認することができるものの、劣化する原因や発火時に発生するガスの定性・定量分析については試験をすることができませんでした。このような状況を鑑み、お客様からの要望にお応えするべく、この度、国内における分析・解析の先駆けであり、且つ最高峰の技術と分析機器を有する株式会社東レリサーチセンターと業務提携をすることといたしました。

これにより、特に電池の信頼性試験～安全性試験～分析・解析の一連の評価をワンストップで行うことが可能となり、お客様の様々なニーズに応じていくことが可能となります。

今般の業務提携により、川上から川下まで一連の試験・評価が受託できる体制を確立することで、今まで以上に「お客様から信頼していただける総合受託評価体制」を目指してまいります。